

【公報種別】特許法第17条の2の規定による補正の掲載
 【部門区分】第7部門第4区分
 【発行日】令和1年10月3日(2019.10.3)

【公開番号】特開2018-57114(P2018-57114A)
 【公開日】平成30年4月5日(2018.4.5)
 【年通号数】公開・登録公報2018-013
 【出願番号】特願2016-188940(P2016-188940)
 【国際特許分類】

H 0 2 P 25/18 (2006.01)
 F 2 5 B 1/00 (2006.01)
 F 2 5 B 13/00 (2006.01)
 F 2 4 F 11/86 (2018.01)

【F I】

H 0 2 P 25/18
 F 2 5 B 1/00 3 6 1 Q
 F 2 5 B 1/00 3 8 1 D
 F 2 5 B 13/00 K
 F 2 5 B 1/00 3 8 3
 F 2 4 F 11/02 1 0 2 W

【手続補正書】

【提出日】令和1年8月22日(2019.8.22)

【手続補正1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】請求項4

【補正方法】変更

【補正の内容】

【請求項4】

冷媒を圧縮する圧縮機と、
 前記圧縮された冷媒を凝縮させる第1の熱交換器と、
 前記第1の熱交換器を通過した冷媒の流量を調整する膨張弁と、
 前記膨張弁を通過した冷媒を蒸発させ、前記蒸発した冷媒を前記圧縮機に戻す第2の熱交換器と、
 前記第1の熱交換器または前記第2の熱交換器に送風するためのファンと、
 前記ファンを駆動する三相モータと、
 所定の回転速度で回転するように前記三相モータを駆動するインバータ回路と、
 前記三相モータの固定子巻線の結線方式を結線とY結線とで切り替える切替回路とを備え、
 前記切替回路は、
 閾値未満の回転速度で前記三相モータを回転させる場合には、前記固定子巻線の結線を結線にし、
 前記閾値以上の回転速度で前記三相モータを回転させる場合には、前記固定子巻線の結線をY結線にするように構成される、空気調和機。

【手続補正2】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0011

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0011】

この開示の一局面による空気調和機は、冷媒を圧縮する圧縮機と、圧縮された冷媒を凝縮させる第1の熱交換器と、第1の熱交換器を通過した冷媒の流量を調整する膨張弁と、膨張弁を通過した冷媒を蒸発させ、蒸発した冷媒を圧縮機に戻す第2の熱交換器とを備える。空気調和機は、さらに、第1の熱交換器または第2の熱交換器に送風するためのファンと、ファンを駆動する三相モータと、所定の回転速度で回転するように三相モータを駆動するインバータ回路と、三相モータの固定子巻線の結線方式を結線とY結線とで切り替える切替回路とを備える。切替回路は、閾値未満の回転速度で三相モータを回転させる場合には、固定子巻線の結線を結線にし、閾値以上の回転速度で三相モータを回転させる場合には、固定子巻線の結線をY結線にするように構成される。

【手続補正3】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0079

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0079】

(4) 空気調和機30は、冷媒を圧縮する圧縮機34と、圧縮された冷媒を凝縮させる第1の熱交換器(36;38)と、第1の熱交換器(36;38)を通過した冷媒の流量を調整する膨張弁37と、膨張弁37を通過した冷媒を蒸発させ、蒸発した冷媒を圧縮機34に戻す第2の熱交換器(38;36)とを備える。空気調和機30は、さらに、第1の熱交換器(36;38)または第2の熱交換器(38;36)に送風するためのファン41,51と、ファンを駆動する三相モータ42,52と、所定の回転速度で回転するように三相モータ42,52を駆動するインバータ回路44,54と、三相モータ42,52の固定子巻線の結線方式を結線とY結線とで切り替える切替回路43,53とを備える。切替回路43,53は、閾値未満の回転速度で三相モータ42,52を回転させる場合には、固定子巻線の結線を結線にし、閾値以上の回転速度で三相モータ42,52を回転させる場合には、固定子巻線の結線をY結線にするように構成される。